

きたやま
北山A遺跡（第6次） NO. 4

所在地：四日市市北山町

位置情報URL：[三重県地図情報サービス 北山A遺跡第6次発掘調査現場](#)

※調査が終了しましたので、現在は新名神高速道路の工事を行っています。

調査結果2 遺物編

といし
砥石

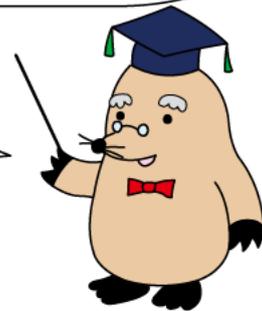


かめ
甕の口部分



今年度の調査で竪穴住居から見つかったのよ。砥石の表面はすりへって、すべすべしてるの。

甕の口の部分からおおよその時代がわかるんじゃないよ。この甕は7世紀から8世紀のもののように。昨年見つけた土器もほぼ同じ時代のものじゃな。



昨年度見つけた土器



調査結果のまとめ



調査区を東の上空から見た様子じゃ。手前から北山 A 遺跡、中野山遺跡、北山城跡と続くんじや。その向こうには鈴鹿山脈がみえるの。



- ・ 4年間の調査で飛鳥時代～奈良時代の竪穴住居が 35 棟（第 6 次調査では 2 棟）、掘立柱建物が 13 棟（第 6 次調査では 1 棟）見つかりました。これらの住居はいくつかの集落を形成していたものと思われます。
- ・ 遺跡の西側は中野山遺跡と隣接しています。中野山遺跡にも同じ時代の住居跡が広がっているので、つながりがあった可能性も考えられます。
- ・ 第 6 次調査で見つかった竪穴住居より北側では住居跡は見つかりませんでしたので、集落の北側の範囲がわかりました。
- ・ 北山 A 遺跡の西側の中野山遺跡では、縄文時代や弥生時代、古墳時代の生活の跡が見つかりました。さらに西側の北山城跡では、おもに弥生時代の生活の跡が見つかりました。他の遺跡と合わせて、この地域の歴史を考えることができそうです。

問い合わせ先：

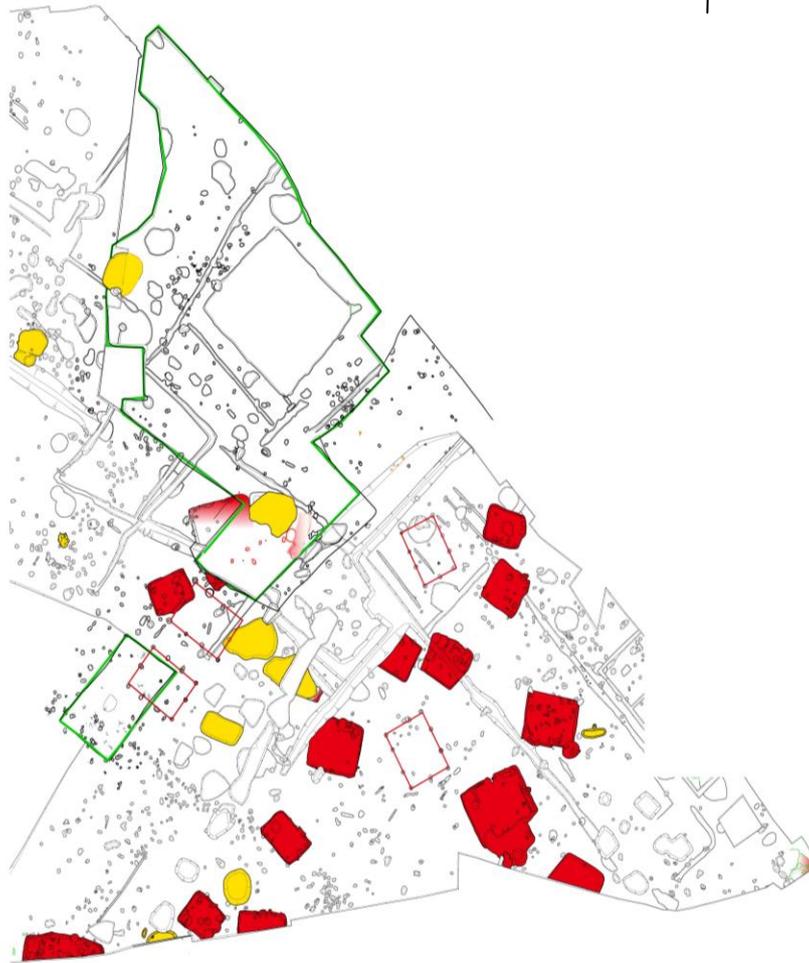
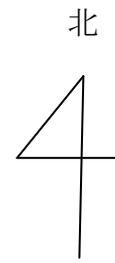
〒512-8064 三重県四日市市伊坂町 126-1

三重県埋蔵文化財センター調査研究 3 課

電話番号：059-363-3195 ファックス：059-363-3196

e-mail：maibun@pref.mie.jp

第6次調査区周辺遺構図



-  竪穴住居
-  掘立柱建物
-  土坑
-  第6次調査区